

観光産業学科増設五周年記念号の発刊に寄せて

商学部長・商学会長 高橋 公忠

平成11年4月に誕生した商学部観光産業学科の5周年を記念し、九州産業大学商学会では、「商経論叢」の特別号として「観光産業学科増設五周年記念号」を発刊することにいたしました。

商学部観光産業学科が設置されるそもそものきっかけとなった社会的・経済的背景の一つには、平成6年に福岡経済同友会が発表した「観光関連学科、講座の開設に関する要望書」があります。この要望書では、全国有数の観光地を多数抱え、さらにアジアの玄関口である九州においては、観光産業が九州地域経済の浮揚、発展を担う基幹産業として成長が期待される分野であると捉え、この地において観光産業について研究するとともに、観光産業を支える人材、すなわちホスピタリティマインドとともに、高い知性と国際的感覚を身につけ、観光産業の技術革新・経営革新を担えるようなプロフェッショナルな人材の育成を目的とした大学の学科の設置実現を希望しています。また21世紀における日本経済の柱となりうる国内観光の振興、およびそのための高等教育機関における観光を中核とした商学、経済学、経営学等の知識を体系的に学修した人材養成の必要性を指摘する平成7年の観光政策審議会答申も、九州産業大学商学部における観光産業学科設置の機運に影響を与えました。

観光産業学科設置趣旨によれば、以上のような社会・経済的な要請のもとで、「本商学部は、新しい市場経済を支える商業活動の本質的意義に鑑みて、その学問的対象・領域・業務内容等について検討を加え、観光産業の潮流に代表される社会経済的要因を分析・整理し、これを教育できる体系

と体制を確立することが商学部教育の重要な課題であると認識するに至っている。」とし、「本商学部は新たに観光産業学科の設置を計画し、これをもって商学部の学科構成の再構築と斬新性に富むカリキュラム改革を推進する。」と商学部に出該学科を設置する意義と学科改編にいたった経緯を説明しています。

このようにして誕生した商学部観光産業学科は、「産学一如」の建学の理想のもと、「ホスピタリティ・マインドにあふれるビジネス・プロフェッショナルの育成」を教育目標として掲げています。カリキュラム上では、心の満足を商品として提供する観光産業を「サービス・ホスピタリティ」と「企業活動」の両面から総合的・多面的に学修できる構成を取るとともに、また実践的な科目を多く設けることで、理論と実務・実践の両面から理解できる教育を目指す学科として、研究および人材育成の両面から社会に貢献しているものと確信しております。さらに、平成15年度の入学生からは観光ビジネス、一般サービスおよび行政サービスの3履修モデルを学生に提示して、卒業後の進路に応じた科目選択ができるような配慮と指導をしています。

このような教育環境下で育った第一期生も平成15年3月に巣立っていきましたが、就職先を見ると、学科の教育目標を実現するかのようには、狭い範囲の観光業界は無論のこと、流通・サービス業等、広範囲の業種および職種に及んでおります。

商学部観光産業学科は今回の5周年を一つの区切りとして、平成16年度には設立45周年を迎える商学科ともども、九州産業大学の建学の理念を体現する学科として、教育研究活動の拠点として社会に貢献する所存であります。最後に、今後とも関係者の皆様方のご支援ご鞭撻をお願いいたすことで、記念号の発刊にあたってのご挨拶に代えさせていただきます。